

(2)尾鷲市立賀田小学校の取組

中村 佳栄 (尾鷲市立賀田小学校 教諭)

2.山の向こうの小さな町にあるのが、賀田小学校です。

4. 4・5年生の具体的な取り組みとして、昭和東南海地震を経験された方々から、当時の状況や具体的にどこまで津波が来たかなどを聞かせていただきました。経験された方の「揺れたら高台へ」、「絶対に死んだらあかん」「子どもの命っていうのは大事なんや」ということを、すごい目力で訴えていただきました。それは子どもたちの心に強烈に残っています。活動のあとには必ず振り返りをして、それを全校に発信することで、4・5年生だけじゃなく、みんなで学習しているということを自覚してもらおうとしています。

5.この学習のあとにやんちゃな男の子が「いつも帰り道で会うおばあちゃんは70歳よりも年上の気がする」と言い出しました。その70歳というのは、昭和東南海地震からこの前の12月7日でちょうど70年ということで、その70年よりも長く生きている人であったら、もしかしたら津波のこと知っているかもしれない、ということでした。いつも口答えをしていた子ですが、「あのおばあちゃんにも聞いてみよう」と、実際に「なあ、おばちゃん津波のことって知ってる？」と聞いてみたそうです。「あれは怖かったよ」と教えてもらい、「やっぱり身近にそういうことが起こったんだ」と考えることができました。そして、「このおばあちゃんにも生きて欲しいな」とか、「僕はいったい何をしたらいいんやろ？」と考えるようになりました。すぐやんちゃで、お年寄りとの関わりがほとんどない子だったのですが、少しずつ地域の一員、「自分は賀田の町で生きてるんだ」という自覚がでてきたように思います。

6.もしも地震で動けなくなったら…という状況をイメージして、「こんなときはどうするか」を考えました。地震が揺れたら4～5分で津波がやってくる、「自分は物に挟まれて動けない、でも家の人を目の前で動ける」そんな時に自分は「助けて」と言うのか、「逃げて」と言うのか「どうする?」ということを考えました。このとき、子どもたちから出てきた言葉は、「そんなこと今まで考えないようにしていたのに」「そんなこと考えたくない」という言葉が出てきました。でも現実には起こりうるということ考えた



尾鷲市立賀田小学校

- 全校児童32人
 - 4年生 2人
 - 5年生 9人
- 複式学級

わたり

→ 防災学習は合同で行っている

- 1年生 ■ 逃げ方を知る
■ 子どもたちの「気づき」
- 2・3年生 ■ 「気づき」をもとに「考える」
- 4・5年生 ■ 「イメージする」「考える」
- 6年生 ■ 「考えて動く」

(1)昭和東南海地震経験者から 当時のことを聞かせていただいた



揺れたら高台へ！ 絶対死んだらあかん！

「いつも帰り道で会うあのおばあちゃんにも
津波のことを聞いてみよう」

- 「このおばあちゃんにも、生きてほしい」
- 「ぼくは、何をしたらいい？」

地域の一員としての自覚

(2)もしも地震で動けなくなったら…。

津波が来る

「助けて!」? 「逃げて!」?

「考えないようにしてきた」
「考えたくない」

でも、現実に
起こり得る

ときに、すごく悩みました。この授業は学習参観会で行いました。みんなでその状況をイメージして、子どもも保護者も私も含めてみんなで悩みました。最終的にはみんなで泣き、「どうしたらいいんだろうね」、「結論でないね」という授業になりました。いざという時には究極の選択をしないといけないのですが、究極の選択をしなくてもいいように事前にどう備えたらいいのか、そういうのを考える第一歩となったように思います。

- 7.防災学習を進める中で、子どもたちは家族の大切さ、友達の大切さ、いのちの大切さ、生き延びることの大切さを改めて感じる事ができました。また、5年生の女の子で、これまで何かあると友達に対して言葉がきつかったり、すぐ喧嘩をしたり、というような女の子がいました。その子の感想は「簡単に『あの人嫌』とか、家族とかでも思う時はあるけど、それが本当に嫌な人なのかを考えたら、とてもさみしくなります。だから人間とか命を大切にしたいです。私は二人の話(昭和東南海地震経験者の話)を聞いて、普段喧嘩したりすると、嫌いとかうざいとか言っている人もいるけど、本当にいなくなったらイヤだからそんなことは言わないようにしようと思いました。」というような感想を持っています。他には海が大好きと感じている子もいます。ここには載せていないのですが、『自分の命を守りたい』とか言いながら、訓練にちゃんと参加していない自分があるので、それは矛盾していることだから今度は絶対訓練に参加したい」と感じた子もいます。
- 8.東日本大震災の映像を見たり、経験された方からお話を伺ったりするのですが、私たちはまだまだ津波を経験したことがないので、それはイメージすることしかできません。経験したことがない災害に備えることはすごく不安もいっぱい、これで十分なのかどうかもわからない手探りの状態ですが、色んな状況をイメージして、考えることを大事にしていきたいなと思います。

家族の大切さ	
友だちの大切さ	
いのちの大切さ	
生き延びることの大切さ	
経験したことのない災害への備え	
➡ 想像することしかできない	
➡ 様々な状況をイメージして「考える」ことを大切にしていきたい	